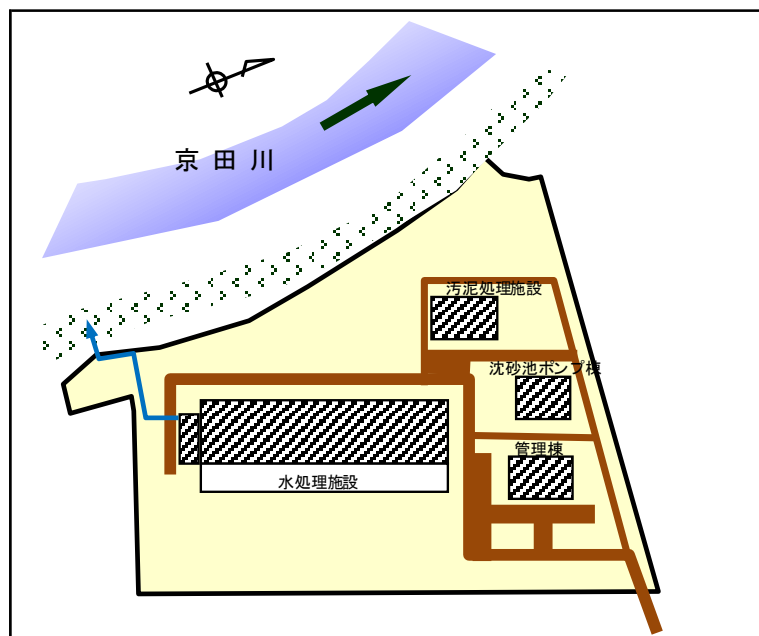


庄内処理区の概要

1 庄内処理区の概要

① 庄内処理区の施設構成



項 目	内 容
関連市町	酒田市・鶴岡市・三川町・庄内町
終末処理場	庄内浄化センター（標準活性汚泥法）1箇所
中継ポンプ場	京田川中継ポンプ場・酒田中継ポンプ場 2箇所
マンホールポンプ	16箇所
幹線延長	47.57 km（松山幹線含む）／台帳整理延長 44.3 km
下水排除方式	分流式
事業認可年月日	平成5年2月4日
供用開始年月日	平成11年3月1日

2 庄内処理区の基礎情報

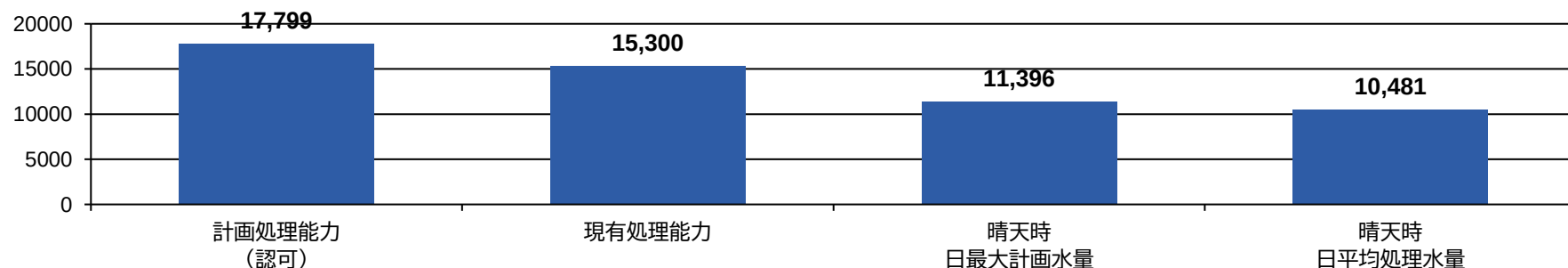
① 計画諸元・普及状況

項 目	単位	数 値
行政区域内人口（R6.3）	人	202,044
全体計画処理人口（R12）	人	40,070
事業計画処理人口（R7）	人	43,680
全体計画面積（R12）	ha	2,299.1
事業計画面積（R7）	ha	2,260.7
R6末 水洗便所設置人口	人	36,200
下水道普及率（R5末）	%	17.2
水洗化率	%	89.0

② 処理諸元（庄内浄化センター）

項 目	単位	数 値
計画処理能力（認可）	m ³ /日	17,799
現有処理能力	m ³ /日	15,300
晴天時日最大計画水量	m ³ /日	11,396
晴天時日平均処理水量	m ³ /日	10,481
年間処理水量	m ³ /年	4,016,295
平均汚泥量／汚泥濃度	m ³ /日 ／%	90 ／ 2.8
年間総汚泥処分量	m ³	32,988
処理方式／汚泥処理方式（計画）	—	標準活性汚泥法／コンポスト

③ 処理能力と処理水量の比較（庄内浄化センター）

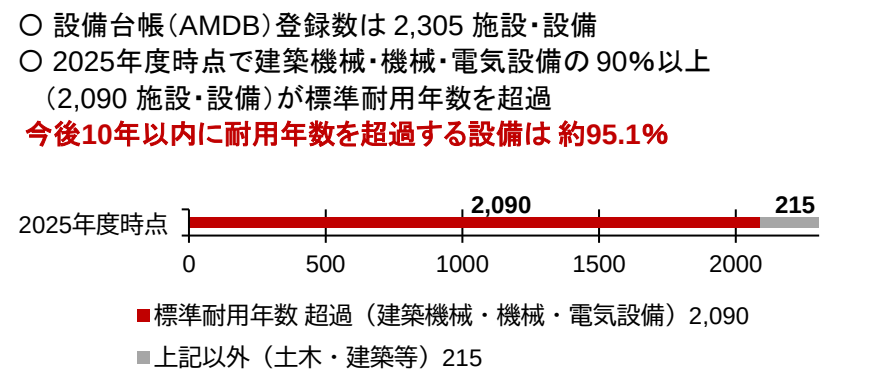


※ 現有処理能力に対する日平均処理水量は約7割であり、施設能力に一定の余裕がある。
維持管理の効率化や新技術の活用等により、汚水処理に要する費用の低減を図る余地があるものと考えられる。

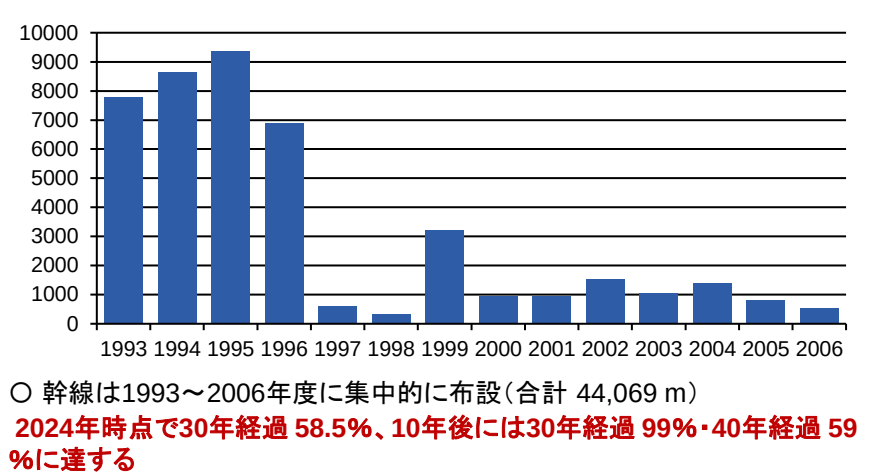
3 庄内処理区の施設情報

(3)庄内処理区の老朽化・耐震化の状況

① 処理場・ポンプ場設備の老朽化

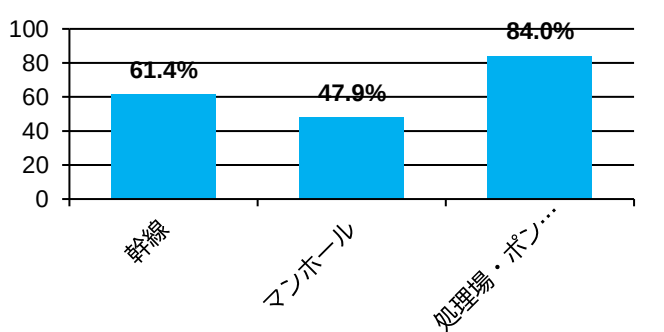


② 管路施設の老朽化（幹線の布設年度別延長）



③ 耐震化の状況

区 分	全体数量	耐震性能 保有	耐震性能保有率
管路：幹線延長	44,342 m	27,209 m	61.4 %
管路：マンホール	545 基	261 基	47.9 %
処理場・ポンプ場（土木24・建築7）	31 施設	26 施設	84 %



処理場・ポンプ場は機械・電気設備の老朽化が進行しており、計画的な健全度評価と設備更新が必要。
 管きょは法定耐用年数（50年）未超過だが、10年後には30年経過管が99%に達するため、調査・点検の充実が必要。

4 庄内処理区の維持管理情報

① 管路の清掃・巡視・点検・調査の実施状況

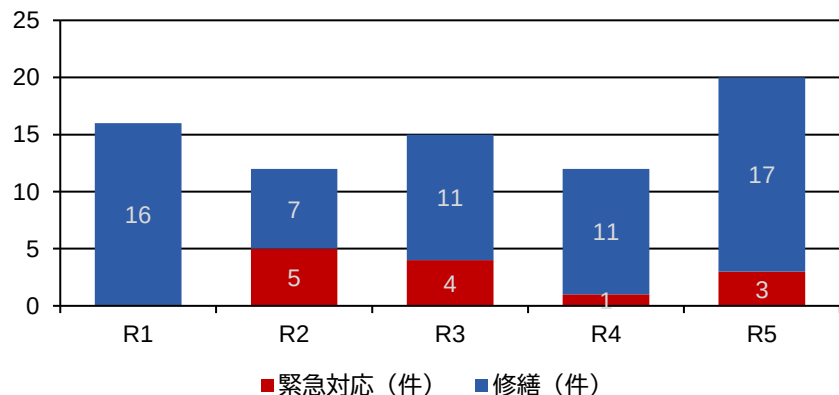
業 務	実施頻度・実績	実施主体
清掃	T Vカメラ調査時に実施	外部委託
巡視	1回／月	直営（庄内総合支庁道路計画課）
点検（マンホール・管口）	全人孔（544箇所）を1回／年	外部委託
T Vカメラ調査	概ね10年に1度（R1～R5計 24,413 m）	外部委託

② 改築工事の実績（ストックマネジメント計画）

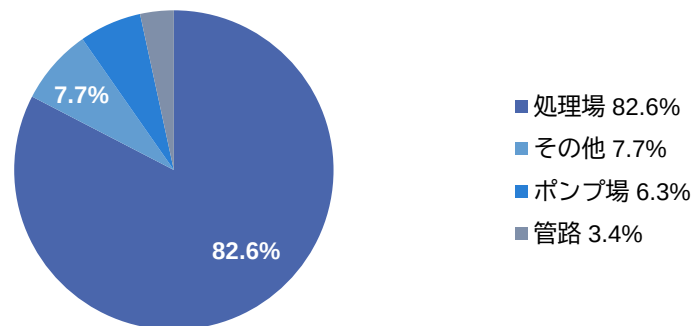
年度	工事概要	金額(千円)
R5	汚泥処理設備（用水・薬注・脱水設備更新）	274,460
R5	電気設備（受変電・監視制御設備等更新）	160,000
R6	濃縮汚泥貯留槽 攪拌機更新（1台）	3,146

修繕は定期的に行われている一方、R1を除き毎年 緊急対応工事 が発生（R1～R5 計75件・約9,760万円、うち緊急対応13件）

③ 緊急対応・修繕の発注実績（R1～R5）



④ 維持管理費の内訳（H29～R3平均 315,004千円/年）



処理場の維持管理費が全体の約83%を占め、そのうち運転管理費が63%と最も多い。処理場・ポンプ場の電力費は全体の約15%であり、電力費の変動が維持管理費全体に影響する。